



ネイチャーセンターだより

2021年4月号

新・いきもの図鑑



ヒバリ (ヒバリ科)

ヒバリは、スズメより大きな体で、色はうす茶色で地味です。頭には、カムリのような羽があり、よくこの羽を三角形に立てています。本州・四国・九州では1年中見られますが、北海道では春から夏に見られる鳥です。草原や牧場、畑などの草丈の低い環境に生息し、草の根もとに小さな椀型の巣をつくり、2～5卵ほど産卵します。

春国岱の海岸のコウボウムギの草原では、5月～6月に数多くのヒバリのさえずりを聞くことができます。さえずりには、空中で強く羽ばたきながら一点に静止したり、輪を描いたりしてさえずる空中さえずりと、小高い石などの上でさえずる地上さえずりの2つのタイプがあります。春国岱に行ってぜひ探してみてください。

【参考文献】

中村登流・中村雅彦. 1995. 原色日本野鳥生態図鑑<陸鳥編>. 株式会社保育社. 大阪
中村浩志. 1997. 日本動物大百科 4鳥類II. 株式会社平凡社. 東京.
高野伸二. 2015. フィールドガイド日本の野鳥増補改訂新版. 公益財団法人日本野鳥の会. 東京.

NEWS

キタミフクジュソウが開花しました

3月23日に、ネイチャーセンターの観察窓の前でキタミフクジュソウが開花しました。ここでは、多いと毎年100株以上の花が見られ、大きな黄色い花がとてもよく目立ちます。

観察窓の前での開花時期は、例年3月30日なので、今年は7日も早い開花でした。2013年から2020年までの開花日と3月の平均気温を比べると、平均気温がプラスの年は3月下旬に、氷点下の年は4月初めに開花を確認しています(表1)。今年の3月は、例年に比べ暖かい日が多かったので、キタミフクジュソウの開花が早まったのかもしれませんが。

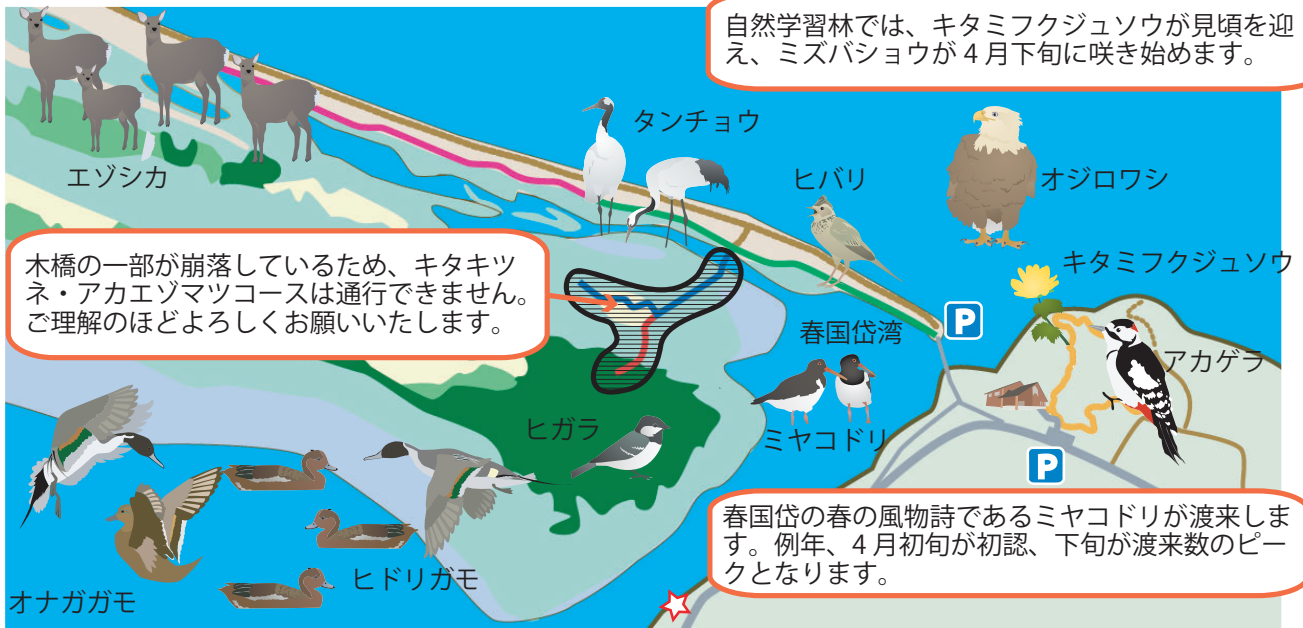
キタミフクジュソウの花は、おおよそ4月下旬頃まで見ることができ、観察窓の前だけでなく東梅自然学習林内でもよく見られます。ぜひ小鳥の小道を一周して、花を楽しんでみてください。

表1 2013年～2020年までのキタミフクジュソウの開花日と3月の平均気温

年	開花日	3月の平均気温(°C)	3月の旬ごとの平均気温(°C)		
			上旬	中旬	下旬
2013年	4月2日	-0.8	-2.1	-0.1	-0.1
2014年	4月6日	-1.4	-3.1	-1.9	0.8
2015年	3月28日	1.2	0	1.4	2.1
2016年	3月29日	0.2	-1.7	1.1	1.2
2017年	4月6日	-1.4	-1.6	-1.8	-0.7
2018年	3月25日	0.7	-0.4	0	2.5
2019年	4月4日	-0.4	-0.8	0.4	-0.7
2020年	3月21日	1.2	-0.6	1.7	2.3



見どころMAP



自然学習林では、キタミフクジュソウが見頃を迎え、ミスバショウが4月下旬に咲き始めます。

木橋の一部が崩落しているため、キタキツネ・アカエゾマツコースは通行できません。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

春国岱の春の風物詩であるミヤコドリが渡来します。例年、4月初旬が初認、下旬が渡来数のピークとなります。

- 観察路(ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路(ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路(キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路(アカエゾマツコース0.5km、約15分)
- 観察路(小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路(春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)
- ★ 東梅野鳥観察舎(東梅ハイド)

4月の見どころ予報

- 凡例
- ◎ ぜったい見られる (と思う)
 - ちょっと気をつければ見られる
 - + よく気をつければ見られる
 - ・ めったに見られない

オオワシ オジロワシ	4月	+	オオワシは、ロシア極東のサハリンやカムチャツカ半島などで繁殖をするため、風蓮湖を去りほとんど見かけなくなる。
	4月	+	オジロワシも渡っていくが、少数は風蓮湖周辺に残り、子育てをしている。
タンチョウ	4月	○	春国岱周辺の湿地や干潟などで採食している様子や、休む様子がよく見られる。4月は、交尾・産卵の時期で、デリケートなため、十分な距離をとってそっと観察するほうが良い。
オオハクチョウ	4月	○	風蓮湖ではアマモを採食し、十分に栄養を蓄えてから4月中旬までに繁殖地のカムチャツカ半島などに渡る。昨年生まれの若鳥は、羽が灰色から白に生え換わる途中。
カモ類	4月	○	渡り途中のヒドリガモ・オナガガモが多く、1,000羽近い群れになることもある。群の中には、同じ渡り途中のハシビロガモ・コガモ・ウミアイサ、夏鳥のマガモなど他のカモ類が混じっている。
ミヤコドリ	4月	○	昨年の初認日は、4月5日。例年、4月下旬が渡来数のピークとなり、近年は50羽以上が風蓮湖や根室湾の干潟で見られる。
春国岱	森	4月	森からルリビタキやミソサザイのさえずりが聞こえるようになる。運が良いとクマガラの鳴き声やドラミングも聞こえるかもしれない。
	草原	4月	海岸の草原ではヒバリのさえずりがよく聞かれる。風蓮湖の周りでは、夏鳥のノビタキやオオジュリン、旅鳥のタヒバリなどに会える。
自然学習林	野鳥	4月	夏鳥のウグイス、ミソサザイ、アオジのさえずりを聞けるようになる。その他に、ハシトガラ、シジュウカラ、ヒガラ、ゴジュウカラ、キバシリ、キツツキ類(アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ)が見られる。
	花	4月	キタミフクジュソウ(今年、3月23日開花)。 エゾエンゴサク(昨年、4月21日開花)・キバナノアマナ(昨年、4月25日開花)。

タンチョウが今年も戻ってきました

タンチョウの訪れは、風蓮湖に春を知らせてくれます。春国岱の第3浜提や温根沼周辺の湿原では、釧路地域などの越冬地から戻ってきたタンチョウのつがいを確認されています。春国岱付近での今シーズンの初記録は、2月21日にセンター前の湿原での観察でした。例年、3月上旬なので、今年は少し早めの到着でした。

タンチョウは、3月から子育ての準備に入り、スゲ類やヨシなどが生える湿原の中に枯れたヨシなどを積み重ねて円い大きな巣をつくります。そして、4月には、卵を産み始め、約1か月間温め続けます。

これからの時期、タンチョウは、警戒心がとても強く神経質になっています。カラス類やキツネなどの外敵が卵や孵化したばかりのヒナを狙っているからです。私たちもむやみに近づいたりして、タンチョウの子育ての邪魔をしてはいけません。もし子育て中のタンチョウと出会ったとしても、遠くからそっと見守ることが大切です。

昨年、春国岱では、1つがいのタンチョウがヒナを育て上げました。今年も何事もなく子育てに成功することを祈っています。



タンチョウのつがい
2021年2月21日撮影



昨年春国岱で確認されたタンチョウの親子
2020年12月6日撮影

春国岱クイズ

春の春国岱にて。オスとメスのオナガガモがなかよくならんで泳いでいたのですが（写真1）、オスが突然、こんなしぐさをしました（写真2）。これは何をしているのでしょうか？

- ① メスにうけようと思って、さかだちをしてみた。
- ② 水の底にある石につまづいて、ころんでしまった。
- ③ 水の底にある食べ物を、首をのばして食べようとしている。



写真1



写真2

写真撮影：善浪めぐみ

答えはウラのページ

春国岱ネイチャーセンターのイベント情報

●行事参加者募集!

◆春の干潟のバードウォッチング

春の干潟に渡来したミヤコドリやカモの仲間などをじっくり観察します。

- ・開催日：4月25日(日) 9:00～11:30 (※雨天等悪天候の場合は4月29日(木・祝)に順延)
- ・集合場所：春国岱ネイチャーセンター
- ・対象：バードウォッチングに興味のある小学校高学年～大人(初心者歓迎)
- ・定員：20人(先着順)
- ・参加費：100円(保険代)
- ・持ち物：帽子、長ぐつ、マスク、飲み物、筆記用具、お持ちの方は双眼鏡(貸出あり)
- ・申込方法：電話、メール、またはネイチャーセンターにご来館の時に。参加者全員の氏名、小学生は学年もお知らせください。

Tel : 0153-25-3047 E-mail : nemu_nc@marimo.or.jp

・行事にご参加の方には、受付後、次のことをご確認いただきます。どうぞご了解ください。

- 体調の不良(平熱を超える発熱、咳・のどの痛みなど風邪の症状、嗅覚や味覚の異常、体が重く感じる、疲れやすいなどの症状)がないこと。
- 行事の日の14日前以降に新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がないこと。
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われている方がいないこと。
- 行事の日の14日前以降に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または当該在住者との接触がないこと。
- 行事保険では新型コロナウイルス感染症等特定感染症を対象としていないこと。

◆ねむろ野鳥イラストコンテスト2021 作品展

根室市、別海町、浜中町の小中学生の皆さんが描いた野鳥88種、457点もの作品が展示されています。ぜひネイチャーセンターに足を運んで、子供たちの力作の数々をご覧ください。

・会期：3月6日(土)～5月5日(水)・会場：ネイチャーセンター1階



募集中心! ボランティア「スंक」

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアスタッフを常時募集しています。春国岱や風蓮湖、ネイチャーセンター周辺の森の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び守ることを目的としています。月に1回、ミーティングを行い(基本的に最終火曜日)、自然学習林の樹名板を作ったり、イベントを企画・実施したりしています。

熱いながらもゆるい楽しい集まりです。ご興味のある方はネイチャーセンターまでお問合せください。

◆対象：18歳以上

◆年会費(ボランティア保険料含む)：1,000円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。またマダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることは遠慮ください



クイズのこたえ ③ 春国岱では、潮の引いた時間に、こんな姿勢で食べものをさがしているカモの仲間がよく見られます。メスもオスも、こんな姿勢をとります。

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp

HP. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

Face Book. <https://www.facebook.com/shunkunitai/>

◆休館日：(開館時間9:00～17:00)

4月7・14・21・28・30日 5月6・7・10・11・12・19・26日

◆団体でご利用の方へ(事前予約制)

自然観察の案内やスライド上映などのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録